

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 河内小 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○1年間継続して、朝自習での河内っこ体力証を使った取組や学期末の成果報告会を行った結果、児童は意欲的に運動に取り組んだ。また、どの曜日でも体育以外の時間に運動に取り組む時間が長くなった。特に土・日曜日の時間が大幅に伸びた。</p> <p>○健康ノートの活用や健康・体力向上の家庭への呼びかけを進めた。しかし、肥満傾向を示す児童の割合や肥満度が少し上がった。体力や運動能力に対する自信もあまりもてていない。休み時間や放課後の適切な運動の推奨や体育時間での実運動時間の増加を図っていくことが必要である。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>○毎週木曜日の朝自習の時間(河内っ子タイム)を使って運動する時間を設定し、「河内っこ体力証」の取組を中心として、基礎的な体力作りを行う。</p> <p>○各種カード等を活用し、児童の意欲を高めるとともに、移動式ホワイトボード等の提示・掲示の有効的な活用を進め、児童のめあてを明確にして技能や体力・意欲の向上を図り、振り返りにより能力の慎重を実感できるようにする。</p>
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>○学校便りや保健便りで家庭への呼びかけを行ったり、健康ノートの活用、取組の周知協力を行ったり、家庭への啓発を強化し、運動習慣や望ましい食生活ができるようにする。</p> <p>○学校周辺の自然環境を生かし、体力向上のために南河内橋で記録会やラジオ体操、鍛錬遠足や持久走等の行事を設け、運動に取り組む機会としていく。また、各種運動に取り組むための道具や環境を整備し、昼休みや放課後の運動を積極的に呼びかけていく。</p>
--